

医療費分析にかかるレセプト情報提供等について

1 福岡県保健環境研究所への情報提供（平成28年度～平成29年度）

福岡県保健環境研究所より、「肺炎球菌ワクチンの効果検証」及び「地域連携クリティカルパスの利用による入院日数の短縮効果検証」に利用するため、後期高齢者医療のレセプト情報の提供依頼があったもの。

(1) 対象の範囲

平成28年4月から平成29年3月診療分のレセプト情報（医科・DPC・調剤に関するもの）。なお、この事業の実施期間は、平成28年度から平成29年度の2カ年。

(2) 提供先

福岡県（福岡県保健環境研究所）

(3) 保有個人情報の提供の根拠

「福岡県後期高齢者医療広域連合個人情報保護条例」第7条第2項第3号に基づき当該提供する保有個人情報は、福岡県が、その推進する保健施策の効果を検証するために必要な限度での利用であると判断され、当該個人情報の利用について相当な理由があると考えます。

(4) 提供方法

福岡県国民健康保険団体連合会を通じて、個人が特定できる情報を匿名化した上で、電子媒体にて提供。

2 後期高齢者医療費分析等事業（平成28年度～）

平成28年度から、医療レセプトと介護給付情報をあわせて分析を開始。保健事業の基礎資料等として、構成市町村等と分析結果の共有を図る。

分析作業は、九州大学大学院へ委託している。

(1) 対象の範囲

平成28年4月から平成29年3月診療分のレセプト情報（医科・DPC・調剤に関するもの）及び介護給付データ。

(2) 提供先

九州大学大学院（医療経営・管理学講座研究室）

(3) 保有個人情報の提供の根拠

保険者である本広域連合が所有するデータを、同大学院に委託し解析するものであり、データに基づく保健事業の推進は、高確法第125条に基づく後期高齢者医療広域連合の事業である。

(4) 提供方法

福岡県国民健康保険団体連合会を通じて、個人が特定できる情報を匿名化した上で、本広域連合職員がCD-ROMで同研究室に持ち込み、分析を開始している。